



統計学・数量経済分析

指導教員

教授 廣松 毅

<略的>

- 平成 元年 1 1月 東京大学教授 (先端科学技術研究センター)
- 〃 7年 4月 東京大学教授 (教養学部)
- 〃 8年 4月 東京大学教授 (大学院総合文化研究科・教養学部)
- 〃 21年 4月 情報セキュリティ大学院大学教授

<専門分野>

- ・統計学(主として、政府統計および時系列分析)
- ・数量経済分析(主として、情報経済論のマクロ・産業分析)

<政府関係機関委員等>

- ・厚生労働省社会保障審議会委員 : 平成13年 1月 ~ 現在
- ・内閣府国民生活審議会委員 : 平成13年 7月 ~ 現在
- ・内閣府統計委員会委員 : 平成19年10月 ~ 現在 等

<研究実績等>

- ・IT(情報技術)導入の効率性に関する計量分析
- ・非生産部門における情報装備の経済効果に関する定量分析
- ・ICT(情報通信技術)産業の構造変化に関する連関分析
- ・情報装備の経済効果に関する分析
- ・情報サービス産業の経営資源と規模の経済に関する実証分析 等

<近刊著書>

- ・飯富順久・廣松毅・小林稔 編著『現代社会の情報・通信マネジメント』中央経済社 2009年10月

<オフィスアワー>

毎週火曜日 15:00 ~ 17:00

研究活動

情報セキュリティの分野に対して、**統計学**、**経済学** 等からの多角的なアプローチを実施しています。

- ・情報セキュリティリスクを取り扱うための、代表的な**統計的**・**定量的**な手法の取り扱い
- ・定性的な対応のみでなく、事象を**定量的に把握**し、その対応を**比較計量するための取り組み**

に関して、指導やディスカッションを通じて研究活動を進めていきます。

<研究室の構成員>

- M2 濱田 良隆 (研究テーマ: 情報持ち出し要因に関する共分散構造分析
- 社会学/心理学の理論と統計手法の適用 -)
- M1 磯谷 洋平 (研究テーマ: 情報セキュリティ投資の経済的動機付けに関する研究)
- M1 高木 知陽 (研究テーマ: 多角的な視点に立ち、現在研究テーマを検討中)

他 客員研究員 2名

